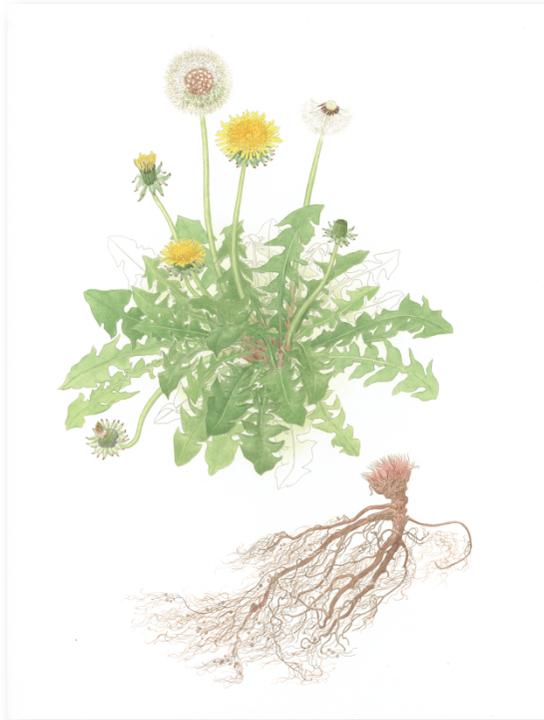




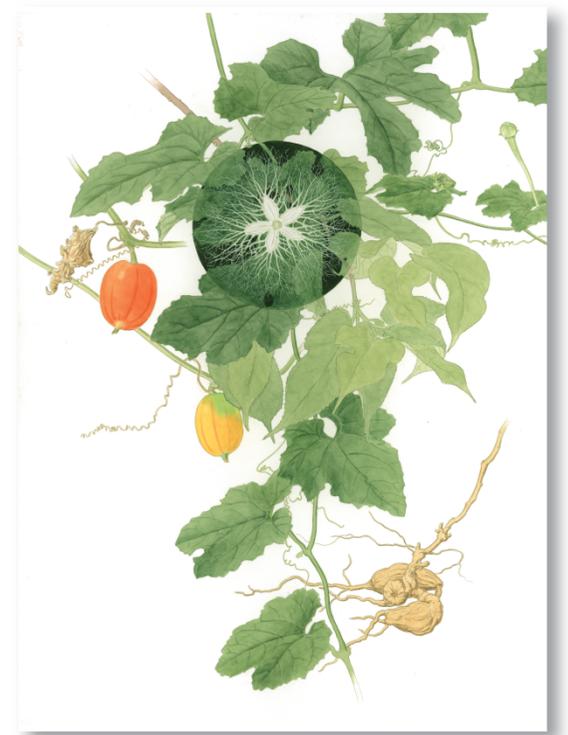
*Chelidonium majus* クサノオウ



*Taraxacum officinale* セイヨウタンポポ



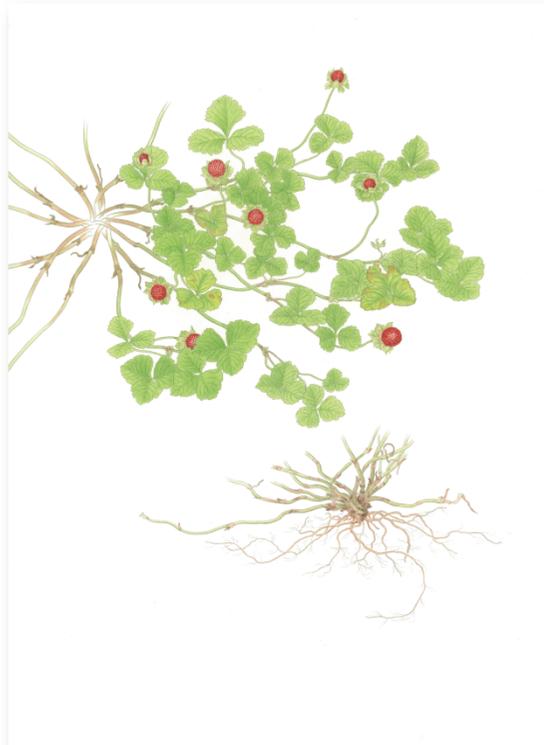
*Acalypha australis* エノキグサ



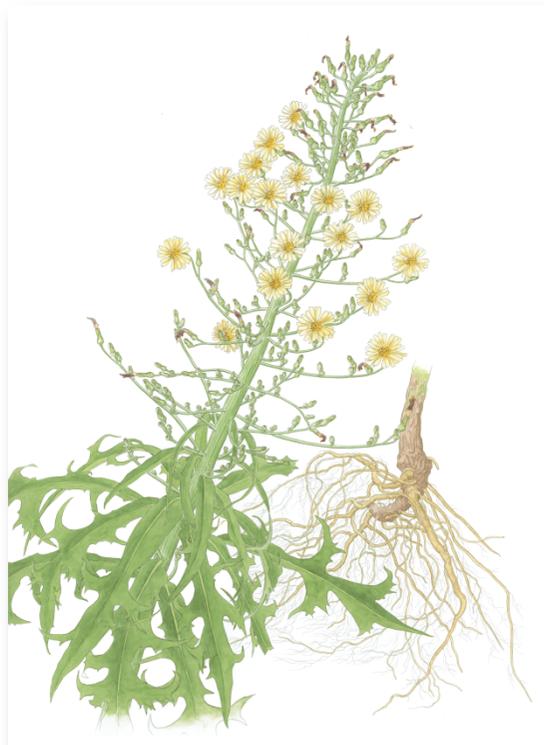
*Trichosanthes cucumeroides* カラスウリ

## 鎌ヶ谷市第二次環境基本計画

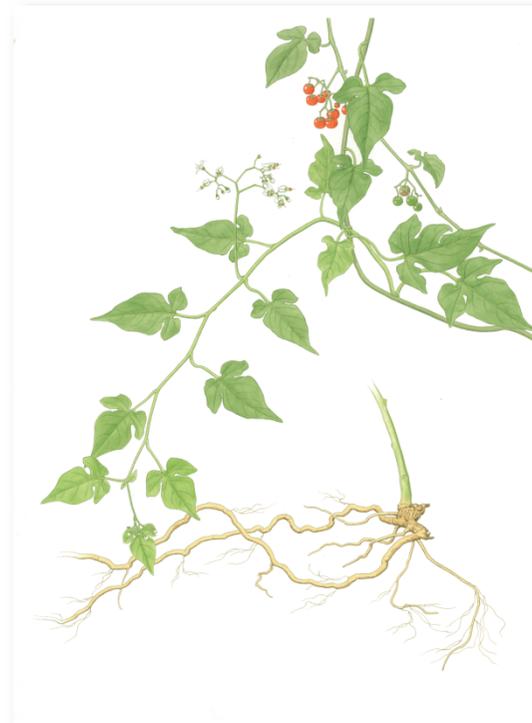
みんなで創ろう 環境のまち かがや



*Potentilla flagellaris* ヘビイチゴ



*Lactuca indica* アキノゲシ



*Solanum lyratum* ヒヨドリジョウゴ



*Disporum sessile* ホウチャクソウ

表紙・裏表紙：ボタニカル・アート『鎌ヶ谷市の野草たち』

■ お問い合わせ  
鎌ヶ谷市 市民生活部 環境課・クリーン推進課

〒273-0195  
千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号  
TEL (047)445-1141 FAX (047)445-1400  
Eメール kankei@city.kamagaya.chiba.jp

平成25年(2013年)3月

## 計画の目的

鎌ケ谷市第二次環境基本計画は、鎌ケ谷市民が健康で安全かつ快適な生活ができ、自然と社会が共生し、環境負荷の少ない持続的発展が可能なるまちの実現を目的とします。計画の推進にあたっては、市民・事業者・行政の具体的な行動につながるよう「身近な行動目標」を取り入れ、幅広い市民の取り組みを目指します。

## 目標とする環境像

### 自然と社会が調和する環境共生都市

#### 将来の鎌ケ谷の姿

環境について知り、考えるなど環境問題に対する市民一人ひとりの意識が高まり、環境に配慮した生活様式が定着してきました。わたしたちは、身近にあつめた情報をもとに、環境の保全に向けて自発的に行動しています。また、市民・事業者・行政は互いに連携・協力しあって環境の保全・再生・創造に向けて取り組んでいます。

わたしたちは、自然や緑の保全、河川の浄化、ごみの減量化、自動車の利用などの身近な環境問題はもとより、エネルギーの利用などの地球規模の視野に立った問題に対しても活発に取り組んでいます。

この結果、良好な自然環境が保たれ、快適な生活環境が創造されています。このような環境のなかで、わたしたちは、自然のうるおいを身近に感じながら、快適でやすらぎのある質の高い生活を送っています。

## 重点目標と環境保全行動指針

鎌ケ谷の環境の現状を踏まえて、「生活環境」、「自然環境」、「文化的環境」、「地球環境」、「資源循環」の5つの分野から3つを重点目標として掲げ、それぞれに環境保全行動指針を設定します。

### 重点目標1 きれいで豊かな水を育み 身近な水辺と親しめるまち

#### 環境保全行動指針

わたしたちは、水を大切につかい川を汚さない暮らしを心がけ、清らかな水の流れる川辺や水と親しめる空間をつくっていくほか、水の循環の再生に努めていきます。また、川をきれいにするという共通の目的をもって、流域を単位とした地域共同体としてのまちづくりをすすめます。

### 重点目標2 林や畑を守り 緑と身近にふれあえるまち

#### 環境保全行動指針

鎌ケ谷市には、谷津や斜面林などの自然がわずかながら残り、そこにはさまざまな生き物が生息しています。また、ところどころに生産緑地としての梨園や畑の緑が広がり、住宅地とのバランスのとれた風景が形成されています。わたしたちは、鎌ケ谷のこのような環境を守り、緑と身近にふれあえるまちをつくっていきます。

### 重点目標3 ものとエネルギーを大切につかい 環境負荷の少ない暮らしをすすめるまち

#### 環境保全行動指針

わたしたちは、気軽にものを買ひ、捨てる暮らしを見直し、ごみをできるだけ出さない暮らしのために、不必要なものは断り、購入しないようにします。また、一人ひとりがものを大切に、再利用・再使用をすすめて、本当に使えなくなるまで捨てないことや、製品の原料として再生利用が可能なのは積極的に回収をすすめるまちをつくっていきます。

## 計画の期間

計画の期間は、平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間とし、必要に応じて見直しを行います。

## 行動項目と行動目標

知る	考える	行動項目	環境負荷の少ない暮らしをすすめるまち			行動目標
			きれいで豊かな水を育み 身近な水辺と親しめるまち	林や畑を守り 緑と身近にふれあえるまち	ものとエネルギーを大切につかい 環境負荷の少ない暮らしをすすめるまち	
	知る	知る	○	○	○	環境の状況を知る
	考える	考える	○	○	○	環境について考える
行動する		知らせる	○	○	○	環境情報を発信する
		人材を育てる	○	○	○	人材を育てる
		水をつかう	◎	○	○	水を大切につかう
			◎	○	○	水を汚さない
		エネルギーをつかう	○	○	◎	エネルギーを大切につかう
			○	○	◎	再生可能エネルギーをつかう
		エネルギーをつくる	○	○	◎	エネルギーをつくる
			○	○	◎	必要なものだけを買う
		ものを買う	○	◎	◎	地元のものを買う
			○	○	◎	環境にやさしいものを買う
			○	○	◎	ものを大切につかう
		ごみを出す	○	○	◎	できるだけごみを出さない
			○	○	◎	分別を徹底する
		出かける・運ぶ	◎	○	◎	自動車の利用を減らす
			◎	○	◎	環境にやさしく自動車をつかう
		健全な環境を保つ	◎	◎	○	有害な物質を出さない
			◎	○	○	不快な音や臭いを出さない
			◎	◎	○	緑や水辺を守り・育む
			○	◎	○	農業を守り・育む
		快適なまちをつくる	○	◎	○	緑豊かな街並みをつくる
		◎	◎	○	美観・衛生を保つ	

## 計画の推進体制

市民・事業者・行政のそれぞれの主体が、各々の特性を活かした役割を担うとともに、各主体が協力しあい、パートナーシップを育み、地域ぐるみで取り組みを推進していきます。

そのための基盤となる推進主体として、各主体の交流と連携を取り持ち、協働を先導するパートナーシップ組織による取り組みを推進していきます。